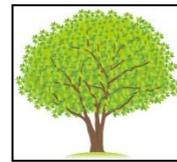


ウォータービンゴ



カワニナ



アミカ



アブ



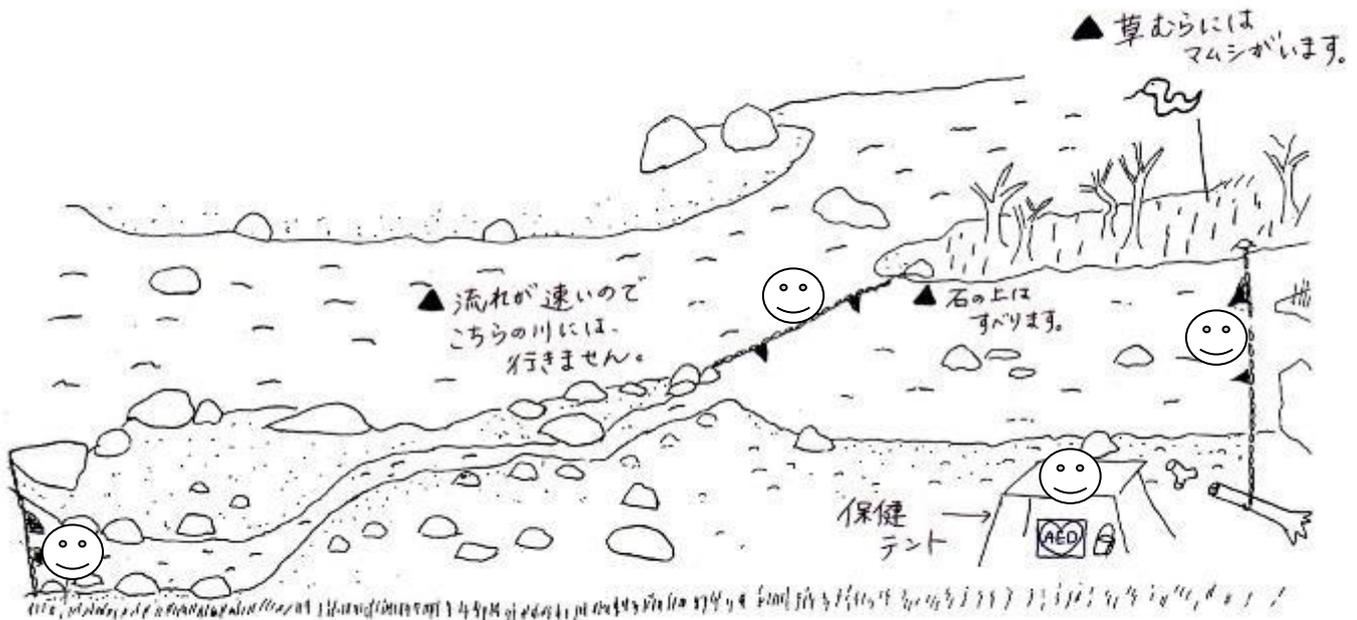
カワゲラ



活動場所	安曇川	自然の家に あるもの	箱、網、図鑑、テント、AED、無線機、 昆虫を入れる容器
所要時間	約1～1.5時間	利用者で 用意するもの	着替え、バスタオル、救急用具
人数	100名程度	活動時の服装	水着（必要な時のみ）、ぬれてもよい靴 またはウォーターシューズ、帽子

森林が生み出すきれいな水に注目し、水質を判断する1つの指標である水生昆虫の採集をします。ただ単に集めるのではなく、ビンゴ形式で提示された水生昆虫を採集して、ビンゴさせるというゲーム感覚を入れた内容になっています。ビンゴになっても全てのスペースの昆虫を集めたり、他の種類も見つかったりできます。最後にそれぞれの昆虫が持つ水質判断の基準（きれいな水・少しよごれた水・よごれた水・大変よごれた水）があるので、そこから安曇川の水質がどれぐらいなのか知ることができます。大人数の場合だと、この基準に応じて並べることで視覚的に判断することもできるので、理解が深まります。

ウォータービンゴ



とくに大切なこと

- ①水生こん虫は、小さな生き物です。よく観察してみましょう。とてもめずらしい水生こん虫を見つけることができます。
- ②石をもって調べる場合は、気をつけて石を持ち、もどすときはしずかにもどしましょう。
- ③つかまえた水生こん虫は、最後には川ににがしてあげましょう。
- ④石をどかして、そこにアミを入れるとたくさんつかまえることができます。

1. 学習内容

めざすもの（評価）	関連教科	学び（単元）
・水生昆虫を観察したり、資料を活用したりする中で、生物と環境との関わりに着目し、多面的に調べる活動をすることができる。	理科	6年「生物と環境」
・自分の住んでいる町の川と葛川にある安曇川を水生昆虫の種類をもとに比較し、それぞれどのような特徴があるか調べ、発信する。	総合的な学習	「環境」

2. ポイント

ア) 活動前

- ・事前に学校や普段生活している地域の川にいる生物を調べるなどをし、当日安曇川との比較を行うと学習がより深まる。
- ・当日は天気、気温、水のにごり、水量、勢い、水温によって実施可能か判断する。
- ・川原にテントを設置する。救護用や休憩用に使用することができる。
- ・濡れてもよい靴かウォーターシューズを用意すること。つま先やかかとの出るサンダルやクロックスは禁止。
- ・帽子は必ずかぶること。
- ・水生昆虫採集だけではなく川遊びの要素も含まれる場合は、川遊びと同じ服装で活動を行うこと。
- ・AEDは自然の家に持出し用が1台と常設が1台ある。救急用具は各団体に用意すること。
- ・子どもの着替えを浴室に準備しておく。

イ) 活動中

- ・子どもの様子をしっかりと把握する。また適時、人数確認も行うこと。
- ・子どもの様子を見て、適時、川から出て、水分補給や休憩をするよう指導すること。
- ・活動の際は、無線機を所持すること。使用方法については当日所員が説明する。
- ・草むらにはマムシがいる可能性がある。見つけた場合は近づかないよう指導すること。

ウ) 活動後

- ・捕まえた水生昆虫は、活動終了時に川に返す。
- ・濡れた靴等は、所内の乾燥室で乾かすことも可能。
- ・入浴を早めにされる場合は、事前に申し出ること。

3. 安全対策について

--